

- 1 会議名 令和元年度 第3回 安曇野市まちづくり推進会議（推進委員会）
- 2 日時 令和2年2月10日(月) 午後1時30分から午後3時00分まで
- 3 会場 安曇野市役所 本庁舎 4階 大会議室 東
- 4 出席者 中槇委員、吉原委員、田村委員、熊井委員、沼尾委員、磯野委員、
大澤委員、峯村委員、川井委員
- 5 担当課出席者 宮澤市民生活部長、地域づくり課 山田課長、青柳係長、矢下主査
土屋地域おこし協力隊員
- 6 公開・非公開の別 公開
- 7 傍聴人 2人 記者 0人
- 8 会議概要作成年月日 令和2年2月25日

協 議 事 項 等

1 会議の概要

- (1) 開会
- (2) あいさつ【田村会長】
- (3) 協議事項
- ① ワーキンググループにおける検討結果及び市への提言書（案）について
- ② その他
- (4) その他
- (5) 閉会

2 会議事項概要

協議事項 ① ワーキンググループにおける検討結果及び市への提言書（案）について
 <資料1について説明>

委員 公民館についてであるが、現在は中央公民館、地域公民館、地区公民館という名称が使われており、分館という名称は使われていないと思う。中央公民館が機能していない部分もあり、地域公民館が中央公民館を兼ねているように感じるが、それぞれの役割を整理していただきたい。まちづくりでも真剣に考えないといけない課題であると思う。前回の会議の資料3に障がい者という記述がとても多いが、意識的に使っているのか。福祉事業者に区に加入といった文言があるが、そういうことは行われているのか。

事務局 公民館については、確認させていただく。障がい者については、前回のテーマが「全市的な見守り、支え合い、助け合いの仕組みづくり」についてであったことから、多くの記述があったが、今回のテーマである区の意義や重要性の理解促進についての記述は少なくなっている。福祉事業所では区の加入が義務付けられているわけではなく、地域に寄り添う一例として挙げさせてもらっている。

委員 4ページ「市民活動サポートセンター」の中で、「将来的にはNPO法人などが中間支援組織を担う」とあるが、市との協働で担うといった話もあるがいかがか。7ページの「地域づくりと事業」であるが、楽しい事業、楽しいイベントに特化されているように感じる。伝統・文化を伝えるなど、参加してよかったと思えるものも必要ではないか。9ページの「人づくり」で「区や学校と連携した福祉学習の推進」とあるが、とても素晴らしいことだと思うが実行できるのか。11ページの「区や地区公民館との連携」に「市民活動サポートセンターへの登録を行い、各区などの課題や困りごと、あるいはニーズを把握し、その解決のために連携する」とあるが、市民活動団体が登録するにあたって重たいものを感じる。

事務局 ワーキンググループで検討させていただく。福祉学習の推進については、社会福祉協議会からの意見であるが、いかがか。

委員 ぜひ実施したいと思う。

委員 私どもの区で一番悩んでいるのは、高齢者の一人暮らしの区の脱退である。これについては各区でも切実な問題ではないか。

事務局 役員のなり手がいない。私の地域では、各世帯に番号をつけて、受けられない人は免除する取り組みをはじめた。高齢者の一人暮らしなど、役ができないから辞めたい人を周りでフォローする仕組みが必要になると思う。

事務局 ワーキンググループで意見をいただきたいと思う。

委員 2つ目の提案についてであるが、勤務先では、やったことに加えて、実際どういった成果があったかを証拠として出すことが求められている。進捗を管理する上で、どうやってやるのか。役割の中には区の意義を理解することに直結せず間接的な施策が含まれており、体系化できていないように感じる。進捗管理する上で、体系を意識したほうがいいのではないか。

委員 いろんな施策がでているが、そこには市民が理解を得るための広報的なものや区の必要度、魅力度をあげるような施策、市民の参加しやすさを求めていく施策もある。いろいろな施策が含まれているが、どの施策が意義の理解促進につながるのかを考察して重みづけをする必要がある。それぞれの施策の重さを意識した体系づくりをする必要性を感じる。

事務局 提言書の内容はワーキンググループ等が出た意見を列記したものになる。進捗管理を進めていく上で、委員会が評価しやすいよう体系化を検討していく。

委員 6ページ「人材」で「若い目線の意見を取り入れる」とあるが、安曇野市外から来た人の意見をとり入れることも追加してはいかがか。

今後、安曇野市でも外人の方が増えてくることが予想される。外国人の方たちについて留意すべき必要がでてくると思う。

委員 市区長会・地域区長会の「他団体による支援」の中で「自立した運営も視野に入れ」とあるが、自立していないとも読み取れる。それは区長会自身の認識であるのか。

委員 事務局は市の職員にお願いしている。昨年、視察で訪れた柏市では、区長のOB等で構成される中間組織を置いていた。今後、区長会がもっとしっかりして、自立して事務局を設置するというものであるが、事務量を考えると厳しい部分があるので、これからの課題であると思う。

事務局 ここでの主な意味は、自立をすることではなくて、経験した人から助言してもらう仕組みを構築することであるので、表現を変更したいと思う。

委員 本日出された意見をワーキンググループで話し合い、提言書を修正させていただく。あまり提出までの時間がないため、修正した提言書の確認については、委員会を開催せず私と副会長に任せていただき、提言書を提出させていただいてよろしいか。

各位 同意

その他

今後の予定 2月20日 会長・副会長より市長へ提言書を提出